

科目名	特別講義2							年度	2024
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1 年次	必／選	選	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員				教員の実務経験		実務経験の職種			
【 科目の目的】 <p>通年のスケジュールが確保できず、なかなか学校に来ていただけない業界の一线で働く方々のお話を聞く。その業界の未来や、必要とされる人材についてなどの情報を得て、将来設計に役立てることが目的である。</p>									
【 科目の概要】 <p>時に講師が関わった映像や、パワーポイント 資料を使いながら講義を進行する。</p>									
【 到達目標】 <p>もちろん講師によって内容や目的は異なるが、話を聞く前よりもモチベーションや業種の理解を深めることが目標となる。</p>									
【 授業の注意点】 <p>この授業を選択した学生は、より積極的な意識で受講してほしい。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	講師の話しをメモを取りながら聞くことができ、将来の自分自身を想像することができる。	講師の話しに対しメモを取らないが、講義に耳を傾け将来の自分自身を想像することができる。	講師の話しに対しメモも取らず、講義も真剣に聞いていない。						
到達目標 B	今後の学校生活でどのように過ごしていくかを真剣に考えることができる。	今後の学校生活でどのように過ごしていくかをぼんやりと考える。	今後の学校生活でどのように過ごしていくかを全く考えていない。						
到達目標 C	作品鑑賞を通して刺激を受け、優れた感想レポートを提出している	作品鑑賞を通して刺激を受けたが、平凡な感想レポートを提出している	作品鑑賞に興味を示さず、感想レポートも未提出である						
到達目標 D									
到達目標 E									
【 教科書】 <p>資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。</p>									
【 参考資料】									
【 成績の評価方法・評価基準】 <p>試験と課題を総合的に評価する。自己分析シート提出。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する</p>									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		特別講義2			年度	2024
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評 価	目 録
1	業界で働くCECOGの就職秘話②		就職活動説明			
			業務内容			
2	youtuberなどTV外メディア①		業務内容説明			
			業界事情解説			
3	youtuberなどTV外メディア②		業務内容説明			
			業界事情解説			
4	映画監督①		業務内容説明			
			業界事情解説			
5	映画監督②		業務内容説明			
			業界事情解説			
6	映画監督③		業務内容説明			
			業界事情解説			
7	TV業界大手企業人事担当者①		業務内容説明			
			業界事情解説			
8	TV業界大手企業人事担当者②		業務内容説明			
			業界事情解説			
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法: 1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価: S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった  
備考 等